

平成29年 第1回伊那地域協議会会議録

開催日	平成29年4月26日(水)								
開催時間	開 会	午後6時30分			閉 会	午後8時00分			
開催場所	伊那市役所 1階 多目的ホール								
委員の出欠 出席26名 欠席13名		委員氏名			委員氏名			委員氏名	
	1	板倉 倫顕	出	16	伊藤 和義	欠	31	岩本 庄平	欠
	2	守屋 武夫	欠	17	西澤 茂成	欠	32	高橋 陽子	欠
	3	伊藤 仁	出	18	福澤 千絵	欠	33	唐木 由美子	出
	4	久保村 友保	出	19	若林 一雄	欠	34	鈴木 優子	出
	5	白鳥 始	出	20	池上 直樹	欠	35	平澤 澄穂	欠
	6	細田 幸一	欠	21	宮下 平治	出	36	武田 登	出
	7	中村 初治	出	22	畑 英城	欠	37	平賀 裕子	出
	8	宮下 信一	出	23	中村 繁子	出	38	小林 正	出
	9	中村 隆幸	出	24	小林 旬子	出	39	井口 清吾	欠
	10	伊澤 芳人	出	25	向山 昌江	欠			
	11	有馬 久雄	出	26	田中 利幸	出			
	12	酒井 秋雄	出	27	小池 弥生	出			
	13	林 典男	出	28	増田 良平	出			
	14	米窪 砂男	出	29	永井 治彦	出			
15	平澤 徹	出	30	清水 功	出				
署名委員	中村 繁子			小林 旬子					
条例第10条の規定により出席した者	なし								
市側の出席者	なし								
出席した事務局職員	企画部長	飯島 智							
	地域創造課長	宮原 貴敏							
	地域振興係長	飯島 勝							
	地域振興係	橋爪 智美							
議 事	協議事項 (1) 平成29年度伊那市協働のまちづくり交付金事業選考結果について (2) 今後のスケジュールについて (3) 小グループでの検討について								

	(4) その他
配布資料	資料 No. 1 平成29年度伊那市協働のまちづくり交付金事業一覧 資料 No. 1-1~8 伊那市協働のまちづくり交付金事業選考シート 資料 No. 2 平成29年度伊那地域協議会年間計画 資料 No. 3 伊那地域協議会検討グループ編成表 参考資料 伊那市幹線道路網整備計画 -アクションプログラム-

1 開会

久保村副会長により、開会する。

(欠席の報告)

2 報告事項

(事務局)

委員の交代について報告する。保育園保護者会連合会から永井治彦さん、消防団（伊那分団）から清水功さんに委員をお願いすることになった。また、本日は欠席ではあるが、JA上伊那から福澤千絵さんをお願いすることになった。

3 あいさつ（会長より）

本日は案内のように、交付金の選考結果と新しいグループ編成について決定していく。大事な協議事項であるので、よろしくお願ひしたい。

4 あいさつ（飯島部長）

4月の組織改編により企画部で当協議会の事務局を仰せつかることになった。昨年度の活動の様子を事務局から聞き取ったが、2月には協議会としての提言書をまとめられ、4つのテーマごとに、地域が行うべきこと、また官民協働で進めるべきこと、さらには行政が担っていくべきことで、しっかり整理がされており、内容についても昨今の地域活動を的確にとらえた素晴らしい内容だと感じた。是非今年度はせっかくいただいた提言に対する市としての検討状況や対応の進捗を、この会において中間報告として報告させていただき、今後のより良い地域政策に結びつけていきたい。委員の皆さまには行政と地域のパイプ役として、また地域のリーダーとして引き続きのご支援とご協力をお願いしたい。

5 会議録署名人の指定について

(会長)

会議録署名人に23番 中村 繁子委員、24番 小林 旬子委員を指名する。

6 協議事項

(1) 平成29年度伊那市協働のまちづくり交付金事業選考結果について

(事務局)

平成29年度伊那市協働のまちづくり交付金事業選考結果について説明。

<質疑・応答>

(会長)

選考結果について質問があればいただきたい。

<異議なし>

(会長)

報告のとおり決定をする。

(会長)

伊那地域協議会に配分された交付金の残額についてだが、145万7千円残っているが、この残額について二次募集をするのか、それとも伊那地域協議会の事業に使っていくかどうか意見をいただきたい。

(委員)

残額については、正副会長それから事務局に任せたらどうか。

(委員)

昨年は二次募集をした。今年も二次募集をしたらどうか。

(委員)

昨年度末に地域協議会の発表会があり、発表を伺ったときに地域の課題をその協議会の中で話し合っ、そこに有効にお金を使っていく手法をとった協議会があった。その在り方が地域協議会の在り方として素晴らしいなと思った。せっかく昨年各グループに分けて何が必要であるかということ提言したわけなので、その提言した中で有効に使える事業があるならば、その事業に交付金を使っていく方が地域協議会の在り方としては適切ではないかと感じた。

(委員)

有効に使うということで考えると、昨年度、事業年度の統一を提言しており、事業年度を統一するには各区3か月間費用が余計にかかる。提案だが、残額を3か月間掛かる費用のため按分して使っていただいたらどうか。ただし、事業年度を統一しないところには出さないということでいかがか。

(会長)

新しい案が出た。一つはこの地域協議会で検討したことについて、使ったらどうかという提案。もう一つは事業年度の統一をしていくので、各区に配分したらどうかという具体的な提案である。他の方はいかがか。

二次募集というのが分かりがいいし、地区にとってはありがたいかもしれない。

(委員)

二次募集でいいと思う。替わったばかりの新しい区長で、よくわからないうちに募集があったので、二次募集するのが良いと思う。できたら区長宛に何かやりたいことがあったら出してくださいと通知したらどうか。今各地区とも減収で頭が痛いのが現実である。区費等がなかなか厳しい。そういった点から再募集するのが良いと思う。

(委員)

御園区の区長をやっているのだが、事業年度の統一で32年度の4月からスタートするのに空白の3か月間をない財政の中でどうやっていこうか頭を痛めている。せっかく昨年度、事業年度を4月にするというで討議してきたことも踏まえて、各区に配分してもらうのが良いと思う。

(会長)

皆さんの意見を踏まえて、会長、副会長、事務局に任せてもらいたいと思う。よろしいか。

<異議なし>

(2) 今後のスケジュールについて

(事務局)

今後のスケジュールについて説明。

(会長)

年間スケジュールということで説明があったが、多少日程が変更になることが有るのか。

(事務局)

行事等によって日程を変更させていただくこともあると思うし、協議をする中で回数を増やさなければならないならば、回数の変更もあるので、全くこのとおりということではない。概ねこの予定で、近づいてきたところで日程をお知らせしていく。

(会長)

よろしいか。

(3) 小グループでの検討について

(事務局)

小グループでの検討について説明。

<グループによる検討>

<グループによる検討結果発表>

(グループ1) 「中心市街地の活性化について」

前年度から引き続きのテーマで、具体的に現実になるようにつなげていくというのが一点である。まちづくりセンターといったものを設立して、伊那市の観光マップ・情報がわかるような工夫をしていきたい。それにあたって運営費や人件費の問題があるので、検討していきたい。日影区のように道に名前を付けたりして活性化につなげていけたらと思う。事務局にお願いだが、前年度の内容を新しいメンバーに、グループが決まった時点で前もって知らせていただきたい。どんな内容でどういう話があったかということが事前にわかっていた方が良いという意見があったので、事務局で資料を用意してもらえればと思う。

(グループ2) 「地域のつながりについて」

年配の方を外に出すということをもまず考えようということ、どうして出られないのかということをお話し合った。検討していく中で見えてくるものもあるだろうから、次回には、どんな場面があったら出てくるのかという事例をそれぞれが持ち寄るということになった。実際には地域のつながりが薄れている中で、災害時の絆は大変大切なのだが、プライバシーがあったりする、なかなか立ち入れないところもあり難しい。また、公民館活動などの運動会とか体育祭とかで地域の交流があることから、つながりができていくのではないかという意見や、三世代の交流を頻繁に行ったり続けたりすることでつながりができてくるのではないかという意見があり、こういったことについて検討していく。小学校とか中学校の様々な行事に参加していくことで子どもとのつながりを作っていく方法もあるという話も出た。

(グループ3) 「伊那地域の公共施設の在り方について」

現在、伊南バイパスの建設が始まってきており、併せてアクセスから東に行く環状北線という話も出てきているところだが、これらを含めて、沿線に大型のショッピングセンターがなく買い物ができる場所がないということがある。消防署も上段に移ってしまい、今竜東地域に火事があると、高遠から出動した方が早いというような状況もある。それから日影、境地区については前々から心配されているが、災害時に高遠ダムが決壊、箕輪ダムが決壊等々した場合に避難場所が高台にあった方が良いという話もある。また、高齢者の交流等々を含めた道の駅を中心とした複合施設を検討したらどうかという話も出てき

ているので、これらを中心にまとめていきたい。

(グループ4) 「少子化、加速化への対策について」

4班は非常に難しい、的が絞れない内容となっている。目標もあるのだがたどりつけるかどうかといった内容になっている。従って、メンバーはこのテーマを選んだということはそれぞれが、なんらかの思い・考えを持っているのであろうと思うので、次回それをきちんと出し合っただ中で取り組んでいくことを決めよう、的を絞っていきましょうということになった。

4 その他

(事務局)

次回の日程について先程スケジュールでお示ししたが、今回は6月15日ということで、決めさせていただきたいと思う。改めて通知するが、この日で開催をさせていただく予定である。

5 閉会

(副会長)

長時間にわたり検討いただき、ありがとうございました。以上を持ちまして、第1回の伊那地域協議会を閉会とする。

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名人において下記のとおり署名する。

平成29年4月26日

平成29年度 第1回伊那地域協議会 会議録

会 長 _____

会議録署名人 _____

会議録署名人 _____